

# 1 交付申請書（規則様式第1号）

令和〇〇年〇月〇日

鳥取県知事 〇〇 〇〇 様

申請書の提出日を記入してください。

知事宛としてください。

住 所 鳥取県〇〇町〇〇-〇〇

申請者 〇〇を桜の一大名所に！プロジェクト実行委員会

会長 〇〇 〇〇 印

（団体にあつては、名称及び代表者名）

氏名を自署する場合には、押印を省略することができます。  
押印いただく場合は、団体の代表者印を押印してください。代表者印がない場合は、代表者個人の私印でも問題ありません。

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金（チャレンジ型）交付申請書

鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金（チャレンジ型）の交付を受けたいので、鳥取県補助金等交付規則第5条の規定により、下記のとおり申請します。

該当する申請区分を記入してください。

記

補助事業等の名称	鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業（チャレンジ型）
算定基準額（見込み）	566,400円 ※記載例1のとおり
交付申請額	500,000円 事前審査通過通知書「4補助金予定額（見込み）」の金額を記入してください。
添付書類	1 事業計画書 2 収支予算書（に準ずる書類）

実際の申請に当たっては、規則様式第1号に挙げている「1 事業計画書」、「2 収支予算書」以外にも提出が必要な書類がありますので注意してください。

## 【参考：補助金交付申請の提出書類一覧】

- 1 交付申請書
- 2 事業計画書
- 3 収支予算書
- 4 団体規約（規約がない場合は、団体の活動目的、活動概要がわかるチラシ・パンフレット、年間計画等）
- 5 構成員名簿（主要な構成員（10名以内）の氏名及び事業において果たす役割に係るもの）
- 6 取組みが将来にわたって継続していくための計画書（実施体制、財源確保の方策を記載したもの）
- 7 対象経費に工事請負費がある場合、
  - （1）工事前・後の平面図、配置図及び改修を加える箇所の工事前（後）写真（工事後は実績報告時）
  - （2）対象となる敷地・建物が自己所有でない場合は、貸主の同意が確認できる書類
- 8 その他申請事業の参考となる資料

## 2 事業計画書（様式第3号）

### (1) 事業の名称

事業内容をもとに、名称を端的に表してください。

### (2) 事業の目的

事業実施することで実現しようとすることを、解決したい地域課題を踏まえて記入してください。（300字程度）

例) 住民が減って活気のなくなった地域を盛り上げ、また将来的には地域に新たな人を呼び込むために、休止していた地域の「桜まつり」を再開するとともに、桜の苗木を植栽し桜の一大名所を目指す。  
また、桜まつりとあわせてウォーキング大会を実施し、地域住民の健康増進と、地域の魅力の再認識・発信に資する。

#### 【事前審査の着眼点】「地域課題」「公益性」※別添の「審査項目、審査の観点、配点及び加重」をご参照ください。

- 例) ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合っているか。  
・活動内容が地域課題の解決に繋がるものとなっているか。  
・活動内容が地域社会の持続又は地域の住民にとって貢献度が高いか。  
・活動が申請者や一部の者の利益でなく、地域社会にとって利益となるものか。

### (3) 実施体制

事業を効果的に実施するために、誰が事業を実施するか、どのような関係者と連携を行うかを記入してください。

例) ○○を桜の一大名所に！プロジェクト実行委員会  
会 長 ○○○○  
副 会 長 ○○○○（イベント実施に関する責任者）  
会 員 ○○名（役割分担を行い、事前の準備・広報、当日運営にあたる）  
連携する団体 ○○○○  
その他、桜まつりでは地域の町内会が当日運営の補助を行うとともに、桜の苗木の植栽は周辺地域の小学校、地域住民やボランティアに呼びかけ協力いただく予定。

既に組織図等がある場合は添付いただき、「別添のとおり」と記入していただいても支障ありません。

#### 【事前審査の着眼点】「地域資源・人材」「顔の見えるネットワーク」「計画の実現性」

- 例) ・地域資源又は人材の活用により、事業の効果を高めることが期待されるか。  
・申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワークを活用する活動になっているか。  
・地域住民と連携をしながら行う活動になっているか。  
・主体的に取組を行うための体制が整えられているか、または体制整備が確実に見込まれるか。

### (4) 事業内容

ア 補助金を受けて実施する事業の内容を、「いつ、誰を対象に、どこで、何をどのように」実施するのが明確に分かるように記入してください。実施される内容がわかるように、具体的に記載してください。

計画から、時期や会場が変更となっても、事業が適切に行われれば支障はありません。

事業計画書や既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみをご記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

<イベント等を実施する場合>

例) 事業実施予定日：令和○年○月～○月頃 計○回  
対 象 者：○○地区住民、○○地区近隣住民  
参加予定人数：○○名（各回○名）  
開 催 場 所：○○  
事 業 概 要：・○○川土手を中心に、地区を巡る○キロのウォーキングコースを設定し、桜とその他の地区の風景や、あまり知られていない名所を巡って楽しんでいただく。  
・コースはマップを作成し、その他の地区内の名所を巡っていただくきっかけとする。  
・○○公園をゴールとして、完歩されたかたには老人会手作りの桜の花びらをあしらった参加記念証をプレゼントする。  
・また、ウォーキング参加者には「桜まつり」会場で使える割引券を配布し、会場の飲食や、お土産を買って帰っていただくことに繋げる。  
事業完了予定日：令和○年○月○日

<交流拠点を整備する場合>

例) 施設の所在地：〇〇市〇〇町〇〇  
施設の現状：以前は診療所として使用、〇〇年から空き家  
修繕内容：キッチン新設、玄関スロープの設置  
着手予定日：令和〇〇年〇月 下旬  
事業概要：・日替わりオーナーによる食事提供（毎週月～金）、学習支援（毎週月～金）などを通じて、地域のお年寄りや、小学生の交流の場とする。  
・また、月2回（第1、3日曜日）には、地域のお年寄りを講師にした郷土料理教室、季節に応じたイベント等を実施し、他世代間交流を行う（別添計画書参照）。  
事業完了予定日：〇年〇月〇日

※県内産業の振興のために、補助事業に伴う発注をできる限り県内事業者にしていただくようお願いしています。対象経費が工事請負費又は委託費の場合で、県内事業者への発注が困難な場合は、その理由を事業内容の欄に記載していただきます。  
発注が難しい場合は、事前に相談をしてください。

イ 寄附された方への返礼品について、「あり」又は「なし」のいずれかの□に✓をし、「あり」の場合は返礼品の内容を記入してください。

(5) 地域性

本事業で解決しようとする地域の課題や住民ニーズ等について記載してください。

「地域の〇〇という課題のために、〇〇事業を行う。そうすると〇〇のような効果が出て、地域が〇〇になる」のように「何を」「なぜ」「どのように」等を組み合わせて記載してください。

例) 〇〇地域も高齢化や若者の減少が進み、地域に昔のような活気がなくなっているが、なんとか地域を盛り上げたいという思いがある。  
その為には、まず自分達の地域の魅力を再認識するとともに、その魅力を外部に発信することが必要と考えた。  
本地域には〇〇川沿いに素晴らしい桜並木が続いており、昔は花見の時期には屋台が立ち並ぶと共に演芸大会が開かれ、「桜まつり」として地域外から多くの人が訪れ賑わっていた。  
この往時の「桜まつり」を復活させることで、地域住民が行動を始めるきっかけをつくるとともに、最近多くの地区で開催され人気となっているウォーキング大会を併催することで地区外の人呼びこむことで、地域おこしにつなげていく。  
また、周辺地域の小学校、地域住民、ボランティアに協力いただいて、桜の苗木を年間200本植栽し、〇〇を桜の一大名所とすることを目指す。

**【事前審査の着眼点】「地域課題」「地域資源・人材」**

- 例) ・事業の背景にある地域課題を明確に認識し、その課題が地域の実情に合っているか。  
・活動内容が地域の実情、ニーズに即しているか。  
・地域に存する固有の資源に着目し、取り入れた活動になっているか。  
・地域資源又は人材の活用により事業の効果を高めることが期待されるか。

(6) 公益性

本事業が地域や社会に与える影響や効果について記載してください。

「〇〇することで、〇〇や〇〇といった人たち（〇人程度）に、〇〇という効果が与えられる」のように「どのように」「誰に」「どのくらい」等を組み合わせて記載してください。

例) イベントがきっかけとなり、参加者のそれぞれが地域についての問題意識を持ったり、達成感を感じられれば、今後の地域おこしの第一歩となる。また、地域の産物を販売することで、現在農業や加工品作りを行っている方にとっても地域外に知ってもらえるよい機会となると考える。  
また、桜まつりには地域の老人会、青年部、婦人会、子ども会にも参加してもらうことで、地域の人の絆が深まり、これからの様々な取組みに繋がっていくものとする。

**【事前審査の着眼点】「公益性」**

- 例) ・活動の内容が、地域社会の持続または地域の住民生活にとって貢献度が高いものであるか。  
・活動が、申請者やその関係者など一部の者だけの利益ではなく、地域社会にとって利益となるものか。  
・成果がより広く地域社会のものとなるように、より多くの参加者を募り、又は積極的に情報発信を行う

活動であるか。

## (7) 計画の実現性

十分な体制のもと取組を主体的に行い、計画を実現することがわかるように記載してください。

「〇〇の実現に当たっては〇〇と〇〇が協力し、十分な人数が確保できている」のように、「どのように」「誰が」等を組み合わせて記載してください。また、身近な行政組織（市町村役場）との関係性、連携についても記載してください。

例) 「桜まつり」については、以前実施していた頃の備品などがあるため、新たな備品の調達は不要。運営については、青年部・婦人会などは町外のイベントに屋台を出店している実績がある。

「桜ウォーキング大会」については初めての試みのため、町の体育協会などと連携をし、事前の準備に務めるとともに、当日も救護所を開設し、医療関係者の方に待機いただき不測の事態に備える。

### 【事前審査の着眼点】「計画の実現性」

例) 申請者が主体的に取組を行うための体制を整えてられているか、または体制整備が確実に見込まれるか。

活動実施のための具体的な場所、手段が示され、必要なノウハウが備わった計画になっているか。

・活動実施のための具体的なスケジュールが示されているか。

## (8) モデル性・継続性

他の団体等のモデルとなるような先駆性や話題性、今後どのように事業を継続していくかを記載してください。

「〇〇と〇〇という新たな工夫をすることで、〇〇や〇〇という効果を得ようとする」のように「誰が」「どのように」「誰に」「どのくらい」等を組み合わせて記載してください。

例) 桜の苗木を周辺地域の小学校、地域住民、ボランティアに協力いただいて年間200本植栽し、5年後には千本以上桜が咲く一大名所としていく。今後は周辺地域住民のみではなく市民全体に植栽の参加を呼びかけるとともに、清掃活動も働きかけ、市民みんなに親しまれる桜の一大名所を目指していく。

次年度以降は〇〇等に協賛していただくとともに桜の苗木の寄附を募る。また、植栽について周辺地域の中学校や高等学校からも協力を得ながら進めていく。

### 【事前審査の着眼点】「個別項目」

別添の「審査項目、審査の観点、配点及び加重」の該当する個別項目欄をご参照ください。

## (9) 他の補助金等の活用

本事業において活用する予定の他の補助金、助成金等があれば、その名称及び助成元の団体名を記載してください。県の補助金を重複して利用しようとしていないかを確認するのが主な目的ですが、県の補助金以外であっても想定している範囲で記載してください。

例) 〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）30,000円（※申請予定）

## (10) 近年の活動実績

団体として過去2年間に取り組んだ活動実績（時期及び活動内容）及びトトリズム推進補助金の活用実績を記載してください。

近年の全ての取組みを記載いただく必要はありません。年間の活動報告などがある場合は、それを「別紙参照」として添付していただいても構いません。今までの取組みを知ることで、申請事業の「計画の実現性」（実績のある団体の方が、実現性は高いと評価されやすくなります）や「個別項目」（過去の事業と比べて、新たな工夫や展開が見られるほうが評価されやすくなります）の参考となります。

平成26年度 9月 〇〇町農林水産祭への出店（地区特産品やおこわの販売。6団体の出店）

平成27年度 9月 〇〇町農林水産祭への出店（地区特産品や新製品の販売。11団体の出店）

平成29年度 〇〇〇事業でトトリズム推進補助金スタートアップ型（スタート支援）活用

## (11) 関係法令の遵守

関係法令の遵守をご確認のうえ、欄に✓を入れて下さい。事業を実施するにあたり、関係法令を遵守していただくための注意喚起です。関係法令等の例は、募集要項を参照してください。

## (12) 令和新時代創造県民運動実践団体への登録

令和新時代創造県民運動推進補助金を活用して事業に取り組む団体は、特段の支障がない限り令和新時代創造県民運動実践団体として登録いただき、地域づくりに関する各種情報の収集、発信などにより効果的な地域づ

くり活動に取り組んでいただくこととしています。

□欄に✓を入れて下さい。**※既に実践団体に登録している場合は、欄内に「登録済み」とご記入ください。**

令和新时代創造県民運動実践団体に登録することで、ご自身の団体のイベント情報、ボランティア募集情報、団体情報等を当課が運営する令和新时代創造県民運動サイトに掲載し、情報発信することができます。ご希望であれば各種助成金情報、イベント情報等のメルマガ配信も可能です。ご登録は以下 URL から可能です。

[http://tottorism.pref.tottori.jp/login\\_menu.php](http://tottorism.pref.tottori.jp/login_menu.php)

### (13) 消費税の取扱い

該当する区分にの□欄に✓を入れてください。

- 一般課税事業者** 基準期間（前々事業年度）の課税売上高が 1,000 万円を超える事業者
- 簡易課税事業者** 課税事業者の中で前々年の課税売上高が 5,000 万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者
- 免税事業者** 基準期間（前々事業年度）の課税売上高が 1,000 万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が 1,000 万円以下の事業者

### (14) 担当者連絡先

申請書の内容についての問い合わせや相談に対応いただける方のお名前と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。必ずしも代表の方の連絡先を記載する必要はありません。



### 3 収支予算書（要綱様式第2号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

#### 記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第2号（第4条関係）

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助（チャレンジ型）事業収支予算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
県補助金	500,000	令和新時代創造県民運動推進補助金（チャレンジ型）
自己資金	66,400	繰越金より 16,400円 賛助会費より 50,000円
参加費① （入場料、出展料等）		
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕		
合計	566,400	

事前審査通過通知書  
「4補助金予定額（見込み）」の金額を記入してください。

NPO法人の賛助会費等、団体の活動全般に対する寄附は自己資金。当該事業を実施するための寄附はその他収入となります。

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	110,000 ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円 桜まつりアトラクション出演者謝金(5人) 100,000
	委託料	30,000 ウォーキングマップデザイン料（業者に依頼）
	印刷製本費	30,000 チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚（業者に依頼）
	保険料	50,000 レクリエーション活動保険料（ウォーキング参加者） 500円×100人
	使用料	100,000 桜まつり音響設備 100,000円
	消耗品費	146,400 文房具：6,400（概算）円、 ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費（概算）：30,000円、 老人会参加記念証作成材料費（概算）：5,000円、割引券作成材料費（概算）：5,000円、青年部・婦人会屋台材料費（概算）：80,000円
	原材料費	100,000 桜の苗木 500円×200本
	補助対象経費計③	566,400
補助対象外経費	補助対象外経費計	0
	合計	566,400

補助対象外経費（例 会員の飲食代など）がある場合は記入してください。

○支出の区分は、募集要項の例を参考としてください。

○経費について、事前に確認をするか、不足することがないように概算で積算をしてください。

ただし、明らかに過剰な積算や、事業に必要なあるいは効果的とは思えない支出が含まれる場合は「補助金の有効活用」の評価に影響します。

○予算額の内訳について説明できるよう、単価や数量をできるかぎり記載してください。

○委託費、工事請負費については、原則として、県内事業者への発注を要件とします。県外事業者へ発注する際は事前にご相談の上、理由書を提出してください。

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 566,400 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③566,400円 - (参加費① + その他の収入②) 0 = 566,400円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

**記載例2 (参加費、その他の収入がある場合)**

様式第2号 (第4条関係)

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助 (チャレンジ型) 事業収支予算書

収入の部

(単位:円)

区 分	予算額	積算内訳
県 補 助 金	500,000	令和新時代創造県民運動推進補助金 (チャレンジ型)
自 己 資 金	1,400	会繰越金より 1,400円
参 加 費 ① (入場料、出展料等)	50,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円
その他の収入 ② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	15,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 5,000円 屋台販売収入 (おこわ: 200円×50食=10,000円)
合 計	566,400	

事業実施にあたって見込まれる全ての収入について記載してください。今後申請を予定している他の補助金やイベント等での販売・入場料収入なども、見込額で記載してください。  
申請時よりも収入が増加した場合は、補助金額が減少する可能性があります。実際にあった収入は適切に報告してください。(後日、補助金の返還を求める場合があります。)

支出の部

(単位:円)

区 分	予算額	積算内訳
補 助 対 象 経 費	謝金	110,000 ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円 桜まつりアトラクション出演者謝金(5人) 100,000
	委託料	30,000 ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	30,000 チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚 (業者に依頼)
	保険料	50,000 レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	使用料	100,000 桜まつり音響設備 100,000円
	消耗品費	146,400 文房具: 6,400 (概算) 円、ウォーキング大会案内看板: 4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費 (概算): 30,000円、老人会参加記念証作成材料費 (概算): 5,000円、割引券作成材料費 (概算): 5,000円、青年部・婦人会屋台材料費 (概算): 80,000円
	原材料費	100,000 桜の苗木 500円×200本
	補助対象経費計 ③	566,400
外 経 費	なし	なし
	補助対象外経費計	0
合 計	566,400	

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費①+その他の収入②) =

501,400

円

記載例2における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③ 566,400円 - (参加費① 50,000円 + その他の収入② 15,000円) = 501,400円

※参加費、その他収入があるので減算します。

**記載例3 (補助対象外経費ある場合)**

様式第2号 (第4条関係)

〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助 (チャレンジ型) 事業収支予算書

収入の部

(単位:円)

区分	予算額	積算内訳
県補助金	500,000	令和新時代創造県民運動推進補助金 (チャレンジ型)
自己資金	11,400	会繰越金より 11,400円
参加費① (入場料、出展料等)	50,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円
その他の収入② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	15,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 5,000円 屋台販売収入 (おこわ:200円×50食=10,000円)
合計	576,400	

支出の部

(単位:円)

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円 桜まつりアトラクション出演者謝金(5人) 100,000
	委託料	ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚 (業者に依頼)
	保険料	レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	使用料	桜まつり音響設備 100,000円
	消耗品費	文房具:6,400 (概算) 円、ウォーキング大会案内看板:4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費 (概算):30,000円、老人会参加記念証作成材料費 (概算):5,000円、割引券作成材料費 (概算):5,000円、青年部・婦人会屋台材料費 (概算):80,000円
	原材料費	桜の苗木 500円×200本
	補助対象経費計③	566,400
補助対象外経費	食糧費	スタッフ昼食代 800円×10名
	交通費	スタッフ所有車両使用料 2000円
	補助対象外経費計	10,000
合計	576,400	

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付 (会議の茶菓、懇親会経費など) は対象外ですが、講師に提供する昼食等、必要最低限のものは対象となります。  
○個人給付的な経費は対象外です。(講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費除く)

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 501,400 円

記載例3における算定基準額の算出の仕方は、  
補助対象経費③ 566,400円 - (参加費① 50,000円 + その他の収入② 15,000円) = 501,400円  
※補助対象外経費は含まずに算出します。